

2014年10月2日

公益財団法人損保ジャパン記念財団

【開催報告】「損保ジャパン記念財団賞」受賞記念講演会・シンポジウム

公益財団法人損保ジャパン記念財団は「損保ジャパン記念財団賞※」の受賞記念講演会・シンポジウムを開催しました。

※「損保ジャパン記念財団賞」：優れた社会福祉学術文献を表彰する制度として、社会福祉の学問的探求を志向する多くの学者・研究者の研究意欲を促進し、わが国の社会福祉の発展に寄与することを目的として、1999年に創設しました。

記

1. 日 時 : 2014年9月20日(土) 13時～17時
2. 場 所 : グランドアーク半蔵門 (東京都千代田区)
3. 参 加 者 : 約120人(大学関係者、学生・研究者、企業・行政の担当者、障害者団体ほか)
4. 主催・後援 主催: 公益財団法人損保ジャパン記念財団
後援: 厚生労働省、一般社団法人日本社会福祉学会、日本地域福祉学会
日本社会福祉系学会連合、一般社団法人日本社会福祉教育学校連盟

5. 開催内容

<第Ⅰ部> 受賞記念講演会

講演者: 水島 治郎氏 (千葉大学法政経学部教授)

内 容 : 受賞著書「反転する福祉国家-オランダモデルの光と影-」

<第Ⅱ部> シンポジウム

テーマ: 「日本での障害者のソーシャルインクルージョンの課題と展望
—国連の障害者権利条約への批准をふまえて—」

コーディネーター: 白澤 政和氏 (桜美林大学大学院老年学研究科教授)

パネリスト : 小澤 温氏 (筑波大学大学院人間総合科学研究科教授)

尾上 浩二氏 (DPI「障害者インターナショナル日本会議」副議長)

炭谷 茂氏 (社会福祉法人恩賜財団済生会理事長)

コメンテーター : 水島 治郎氏 (千葉大学法政経学部教授)

6. 参加者の声

水島氏の講演は、先進的な福祉国家と言われるオランダの「光」の部分に対して、移民労働者を排除するなどの「影」の部分についても、分かりやすくお話しいただき大変興味深かった。オランダなどの小国モデルは、現在の日本を考える上で大変参考になる内容で、もっと詳しく聞いてみたかった。

シンポジウムは、国連の「障害者の権利に関する条約」の批准を踏まえたタイムリーなテーマであり、3名のパネリストそれぞれの立場からの発表は、今後のソーシャルインクルージョンを考えるヒントになった。小澤氏の日本の障害者施策や支援についての展望、尾上氏の当事者の立場から批准に関わる中で明らかになってきた課題、炭谷氏の特に日本が遅れているとされる障害者の就労支援についての課題の発表をききながら、ひとりひとりが人間として尊重される社会をどう作っていくのか考えさせられた。尾上氏の「Nothing about us without us(私たちのことを、私たち抜きに決めないで)」、水島氏の「Think globally, act locally(地球規模で考え、足元から行動しよう)」などのキーワードが印象に残ったなどの感想が聞かれました。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

公益財団法人 損保ジャパン記念財団 電話: 03-3349-9570